

子どもの成長保障の観点から 教員養成制度を俯瞰する



**ナミアゲハ・カマキリを
卵から産卵まで育てあげる園児たち…**

岐阜市教育長 水川和彦

幼稚園児のドキドキ・ワクワク探究 清水川の魚とり大作戦！！



園児は、教師の想像をはるかに超える探究の力を発揮する
そこには、時間軸と試行錯誤、そして発見があふれている。



- ・ 幼小合同での学習活動（生活科）を展開する
「なつとなかよし」「あきとなかよし」

隣接する加納幼稚園と加納小学校の
合同授業からみてきた
学びの構造の違い



小学校教諭の学びと実感

【小学校教諭の気づき】

- 幼児教育における「遊び」の意義をふまえ、生活科の学習活動として再構成したことにより、子どもの心の動き、一つ一つの活動の価値に着目できるようになった。
- 活動中の子どもへの声のかけ方や援助の仕方が子ども目線になり、子どもの思いや願いを受け止める姿勢をもてるようになった。
- 学びに対する自由度の大切さを学んだことにより、日々の授業でも子どもが主体的に取り組む時間を確保するようになった。
- 生活科の授業では、どんな環境設定を工夫すると子どもたちが自分で考えて創造的に遊ぶのかを考える重要性に気付いた。
- 生活科の授業改善を図工等、他教科にも活かすことができた。

幼稚園教諭の学びと実感

【幼稚園教諭の気づき】

- 小学校の先生と毎月じっくりと架け橋期の子どもたちの成長について語れることが面白い。
- 話すだけではイメージできないことも、実際に子どもたちの様相をもとに共有する機会になった。さらに環境を授業に取り入れてもらえた。
- 小学校は、限られた時間内で明確な願いや観点にそって授業が展開されている。そのため、担任の援助に明確な軸があり、それを基に目的を示しながら、多様な言葉かけや援助により子どもを導いている。
- 言葉かけが、洗練されており、端的で分かりやすいので見習いたい。
- 幼小ともに、自分のしたいことをじっくりと考えられる時間が必要であることを共通理解できた。

小学校教諭免許状取得に必要な事項 ①

○幼稚園教育体験活動を取り入れる(1週間程度)

- ◆幼児教育の遊びの中の学びの体験
- ◆遊びの面白さの理解
(何を楽しんでいるのか⇒読み解く)
- ◆担任等との対話による話し合い
(子どもの思いを多面的に読み解く)
(正解を探るのではなく、読み取りの多様性を重要視)
- ◆自ら遊んでみる(自身が試行錯誤する経験)
- ◆子どもの興味・関心の広げ方・深め方
- ◆保護者対応(家族支援)

幼稚園教諭免許状取得に必要な事項 ②

○小学校教育の体験活動を取り入れる(1週間程度)

- ◆小学校教育の自覚的な学びの体験
- ◆各教科・道徳・特別活動・生活科・総合的な学習の時間等の観察
- ◆生活科の授業体験(担任のレクチャー後、T2としてやってみる)
 - (ねらいに対してどのような過程を経験させるか)
 - (声かけや手がかりに対する様々な方法)
 - (授業づくりへの参加)
- ◆担任等との対話による話し合い
 - (子どもの思いを多面的に読み解く技術)
 - (正解を探るのではなく、読み取りの多様性を重要視)

幼(保)小接続の観点から ③

○幼児教育と小学校教育とのつながりの理解

- ◆方向目標と到達目標
- ◆遊びを通した総合的な指導と教材による授業
- ◆無自覚な学びと自覚的な学び
- ◆5領域と各教科等の関連性
- ◆各領域や各教科の横断的な学び
- ◆育みたい資質・能力の関連性
- ◆主体的・対話的で深い学びの関連性
- ◆個別最適な学び・協働的な学びの関連性

幼稚園・小学校教諭免許状取得に必要な事項 ④

○架け橋期のカリキュラム

- ◆ 小学校教育・幼児教育との関連性
- ◆ アプローチカリキュラム、スタートカリキュラムの編成
- ◆ 生活科の授業づくり(指導案作成、模擬授業)
- ◆ 探究的な遊びの指導(指導案作成、模擬保育)

幼稚園教諭免許状取得に必要な事項 ⑤

○自然科学スキル(STEAM教育)

◆フィールドワーク

野原・森(自然物・生き物等との関わり)

水辺(水辺の自然物・魚・小動物等との関わり)

◆飼育と栽培

◆草花の性質

(花冠、笛、お面、色水、ごちそう作り、染め物、食)

◆砂や土、泥、石などの素材の性質

(泥団子、トンネル、穴掘り、素材の面白さ)

◆水を使った遊び(冷温、氷、虹、水鉄砲、水路、浮き沈み)

◆光と影

◆個体と液体(シャボン玉、ホイップクリーム、ごちそう作り)

◆天気と天体(晴雨、嵐、風、星、宇宙)

◆電気(電灯、電動)・・・等々

幼稚園教諭免許状取得に必要な事項 ⑥

○教育ICTスキル

◆記録と評価(教育日誌・保育計画)

保育ドキュメンテーション・エピソード記述・ウェブマップ等の読み取り

記録の書き方・発信、動画編集スキル(YouTube等)

評価に活かす

◆遊びを豊かにする活用法

クイズ作り、生き物の変態の様子撮影、モニター活用、プロジェクションマッピング、
ニュース作り、映画作り、

◆デジタルシティズンシップ教育

◆著作権、肖像権等の学び

◆会議等記録のデジタル化(生成AIによる文字起こし)

教師としての適応力・回復力・自己管理能力の育成 ⑦

○教育実習の在り方の見直し(期間に余裕をもたせる)

- ◆実践現場で、失敗しながら学ぶ体験
- ◆うまくいかなかったことを試行錯誤しながら再挑戦できる体験
- ◆実習記録の保育ドキュメンテーション、ウェブマップ等、多様な様式化

○自己理解と他者理解

- ◆自己理解(メタ認知)
(性格診断 ex. エゴグラム診断・MBTI適職診断など)
- ◆円滑なコミュニケーション(グループエンカウンター)

○自分事として考える力(当事者意識)

- ◆自身の体験を思い起こし、語る・書き表す
- ◆自身の体験が、保育観や子ども観につながり、自分の価値観に気付く

○学び続けようとする力

- ◆とりあえず「やってみよう」とする体験
- ◆保育を面白がる体験
- ◆自分なりに考え、試行錯誤できる体験(探究する面白さ)

教職WGの中間のまとめを踏まえた制度の見直し案より(1)

○領域に関する専門的事項及び保育内容の指導法

- ◆領域のねらいと内容及び一人一人に応じた指導法(手立て)を丁寧に学ぶ。

○教育における多様性の包摂

○特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解

○教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む)の理論と方法

- ◆上記の3科目については、関連性が深い。

そのため、関連付けながら1教科として学ぶことがよいのではないか。

ここに、時間をたっぷり使う。

- ◆特別な支援を必要とする子ども(多様なニーズと捉える)が困り感を抱えることで、教育相談が必要となることが多い。関係性の中で学ぶことで、学生にとってはわかりやすくなるを考える。

○教育に関する社会的、制度的及び経営的事項(教育法規を含む。)

- ◆危機管理意識の向上や法令遵守(コンプライアンス)は必要だが、詳細については、就職してから学んだ方が効果的ではないか。

教職WGの中間のまとめを踏まえた制度の見直し案より(2)

○離職を防ぐために・・・

- ◆学生には、できるだけ「子ども理解」に基づき、「一人一人に応じた有効な手立て」を、具体的な「エピソード」をもとに、考え、他者と対話しながら指導方法や対処法、解決方法を見つけ出す学びが必要
- ◆保護者対応、教育相談等においても、ロールプレイングによる学びを深めることが必要

○領域に関する専門的事項・保育内容の指導法において、丁寧に学び、知識を身に付ける。

○教育における多様性の包摂・特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解・教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む)の理論と方法

- ◆1教科として、具体的実践を描きながら知識として学ぶ

○教育実習を実施

- ◆知識の範囲ではうまくいかなかったことを、再度、実践演習しながら学ぶ



往還的な学び

教育職員免許法施行規則第66条の6の見直しについて(3)

○体育

◆幼児の場合は、運動スキルを身に付けさせるというより、子どもが、「楽しく体を動かすこと」「やってみようとする事」「やってみたら楽しかった」という経験の中で、「少し難しいことに挑戦してみよう」「力を合わせて取り組む面白さ」などを感じることが大切。

⇒そのことから、幼稚園教諭が体育の指導者としての知識・技術を身に付ける必要性は低い。

⇒レクリエーション的に、楽しく活動できる手立てを学んでおくことの方が重要となる。
そうであれば、他の科目で代用可能。

○外国語コミュニケーション

◆親しんでおくことで、多様な人々と意思疎通しやすくなる。言語力としてではなく異文化コミュニケーションとして、自分と異なる文化をもつ人と、臆することなくコミュニケーションが取れるように理解しておくことは必要。

◆体育と同様、外国語の知識・能力を身に付けるのではなく、外国語に親しむ科目として、必要。

**子どもは成長する。
その成長をあたたく支える教員を育てたい・・・**

